

2025年度 和泉短期大学 シラバス			
授業科目名	災害と保育		
科目ナンバー	IV-10-6(IV-10-7)		
教員氏名	吉田久仁子		
学年	1年・2年		
開講学期	通年 ※この科目は前後期にかけて行う変則授業である。開講日時に留意すること。		
授業形態	演習		
単位数	2単位		
必修・選択	選択		
テーマ	福島から考える ―東日本大震災と原子力災害時の保育と福祉を知る―		
授業の到達目標	ホープツーリズムを通して、世界初の甚大な複合災害(地震・津波・原発事故・風評)禍で、子どもの命を守り育み保育を紡いできた被災地の保育実践から学び、福島での教訓を「他人事」から「自分事」へと生かす。		
授業の概要	・事前学習:4月～7月に学内で事前学習を行う。 ・フィールドワーク(ホープツーリズム):8月末2泊3日で福島を訪れ、東日本大震災・原子力災害伝承館、南相馬市の公私立保育施設(保育・福祉施設など)を見学する。地域の方々との交流などを通して、見て・聞いて・考える ・事後学習:9～1月(10月)に学習のまとめを行なう。		
授業計画		項目	内容
	第1回	オリエンテーション /事前学習①	授業予定、フィールドワークの概要説明
	第2回	事前学習②	福島学の研究者から 「福島の現状」について講義を受け、福島県南相馬市の保育・福祉の状況 フィールドワーク(ホープツーリズム)に向けた具体的準備活動をする。
	第3～7回	フィールドワーク (ホープツーリズム)	福島県浜通り・南相馬市の視察と保育実習、施設見学
	第8・9回	事後学習	フィールドワークの振り返りと報告(ポスター発表)の作成
	第10回	子どもと防災	被災地の事例を通して
	第11回	保護者と保育者支援の実践	ストレスリダクション法を大学教員などから学ぶ
	第12回	地域をつなぐ連携・協働の実践	被災地の事例を通して
	第13回	まとめ	
テキスト	授業中にプリントを配布する		
参考書	授業時に紹介します		
成績評価方法	事前学習の課題への取り組み状況(20%)、フィールドワークへの参加及び取り組み状況(60%)、事後学習の報告レポート(20%)		